

# 総務文教常任委員会活動レポート

開催日：令和5年3月10日(金)

開催場所：1・2号委員会室

## 【主な質疑】

### 総務部

#### ●ふるさと応援制度推進事業について

委員：昨年12月の委員会代表質問の答弁では、令和5年度の目標寄付額は第7期総合計画により令和7年までに2億円を目指すとのことでしたが、令和5年の予算では3億円とした根拠と実施計画の説明をお願いします。

担当：令和4年度にふるさと納税係を創設し、本年は中間事業者を含めた返礼品事業体制の見直しや、新たにふるさと納税を担当する地域おこし協力隊を採用し推進体制を強化する予定であることから、本年を転換期と位置づけ、新商品開発や事業者との更なる連携を図り寄附額の向上を目指します。

委員：リピーター獲得のため、新たにどのような計画を考えていますか？

担当：全体の3割ほどがリピーターで、返礼品が好きなリピーターと町が好きなリピーターの2つの観点から、ポータルサイトの充実やSNSの情報発信強化、新たな返礼品の開発・拡充を図ります。

#### ●地域防災力向上事業について

委員：防災分野で迅速な救助や支援につなげるため、退職自衛官の採用予定はありますか？

担当：現時点では具体的な採用計画はありませんが、退職自衛官の知見や、町と自衛隊との今後の繋がりを考えると大きなメリットがあると考えますので、タイミングが整った時に前向きに検討します。

#### ●地域防災計画等改訂事業について

委員：中標津町地域防災計画で改訂される避難所運営マニュアルには、災害時に誰でも避難所を開設できることが必要ですが、開設のマニュアル及び開設時に必要な物品を収めた開設キット整備の予定はありますか？

担当：現在は避難所の開設マニュアル、運営マニュアルはありますが、開設キットは整備していませんので、誰が最初に避難所に来ても開設できるようなキットの整備を始め、開設マニュアルを見直したいと考えています。

## 教育委員会

### ●酪農学園大学連携協定推進事業について

委員：酪農学園大学と農業高校が連携して開発した商品の品目と、それらを使用した料理を考案する際、調理師を参画させる考えはありますか？

担当：微生物を使った生ハムや、町内生産の豚肉のサラミなどを開発中であり、それらを活用した総菜パンやメンチカツ等の商品化を考えています。調理師の参画については今後、学校から要望があった際に考えます。

### ●スポーツ大会等開催助成事業について

委員：330° マラソンの開催予定は、どのようになっていますか？

担当：330° マラソン大会は、町・文化スポーツ振興財団・実行委員会で実施していましたが、経費面や400～500名に及ぶ運営スタッフの確保が難しいことなどから、検討を重ねた結果、開催を終了することとなりました。現在、町と文化スポーツ振興財団で、マラソンに代わる持続可能な健康増進の機会作りを検討中です。